

FUJI robots lead the way



第 **75** 期
中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

自動化技術の裾野を広げ、ロボットカンパニーとしての確固たる地位を築いてまいります

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当グループ2020年度中間期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 須原信介



市場環境と成果

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気は大幅に下押しされ、企業収益の悪化とともに設備投資は減少しました。一方、経済活動再開の動きが広がり、景況感の悪化には歯止めがかかりました。世界経済は、中国では輸出に持ち直しの動きが見られましたが、欧州及び北米においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気は依然として厳しい状況で推移し、製造業の設備投資は低迷しました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。主力の電子部品実装ロボットや工作機械の分野で、来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、電子部品実装工程の全自動化を目指し世界初の自動部品補給システムを搭載したハイエン

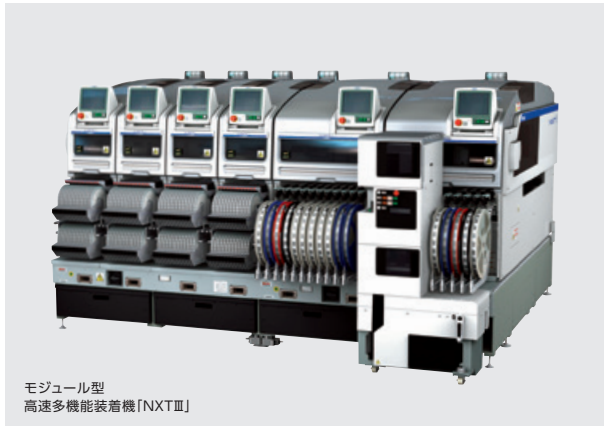
ドモデル「NXTR」の市場投入を推し進めてまいりました。また、コロナ禍で営業活動の制限や展示会の中止・延期が相次ぐなか、対面営業に頼らない「WEB面談」の推進や当社ウェブサイト上での「WEB展示会」の開設などに積極的に取り組み、マーケットシェアの拡大に努めてまいりました。そのほか、コストと効率を同時に追求した生産体制の構築、固定費の一層の削減などにも取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当中間期における売上高は706億5千4百万円となり、前中間期と比べて15億7千1百万円(2.2%)減少しました。営業利益は114億1千2百万円と、前中間期に比べて1億8千2百万円(1.6%)増加し、経常利益は121億1千8百万円と、前中間期に比べて7億6千6百万円(6.8%)増加しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前中間期と比べて3百万円(0.0%)減少し、86億8千1百万円となりました。

事業別の成果

ロボットソリューション事業

当事業では、プリント基板上に多種多様な部品(IC、チップ等)を装着する電子部品実装ロボット及び周辺機器を開発・製造・販売しております。



モジュール型
高速多機能装着機「NXTⅢ」

当社の主力市場である通信機器向け需要が底堅く推移したに加え、ノートパソコン・タブレット端末向け及び半導体関連向けの販売が伸長しました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大による影響のため、欧米での設備投資需要は引き続き軟調に推移しました。この結果、売上高は653億9千5百万円となり、前中間期と比べて4億3千1百万円(0.7%)増加しました。また、固定費の削減などにより、営業利益は134億6千8百万円となり、前中間期と比べて8億7千4百万円(6.9%)増加しました。

マシンツール事業

当事業では、金属素材を削り、各種製品の部品を加工する工作機械を開発・製造・販売しております。



正面2スピンドル旋盤
「CSD300Ⅱ」

従前からの市場停滞に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による影響のため厳しい状況に直面し、日本国内、北米、中国などで販売台数が大きく減少しました。この結果、売上高は38億2千5百万円となり、前中間期と比べて25億1千2百万円(39.6%)減少し、営業損益は6億3千1百万円の損失(前中間期:営業利益1億3千3百万円)となりました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算のポイント

売上高

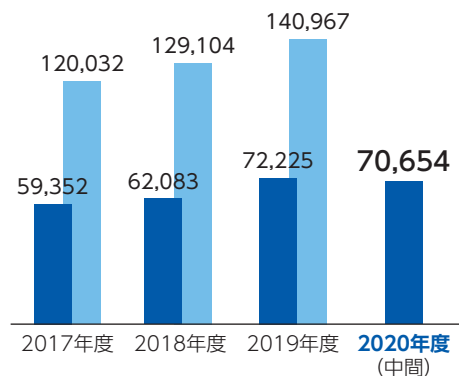
前年同期に比べ、15億7千1百万円の減収となりました。

営業利益

販売数量は減少したものの、経費削減等により、前年同期に比べて1億8千2百万円の増益となりました。

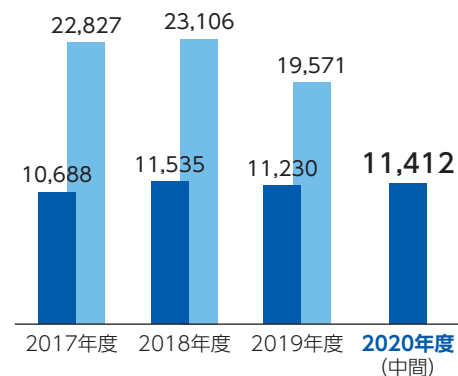
売上高(百万円)

■ 中間 ■ 期末



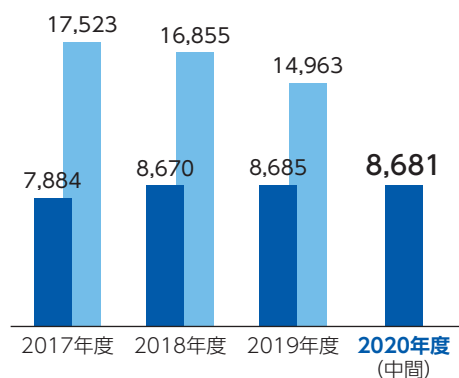
営業利益(百万円)

■ 中間 ■ 期末



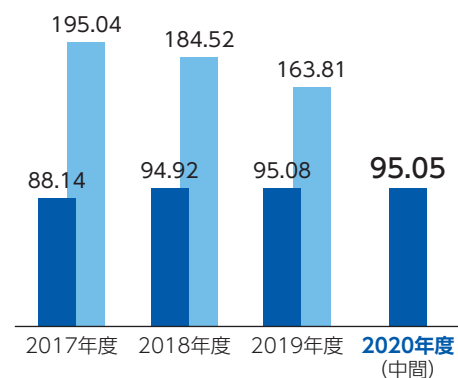
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(百万円)

■ 中間 ■ 期末

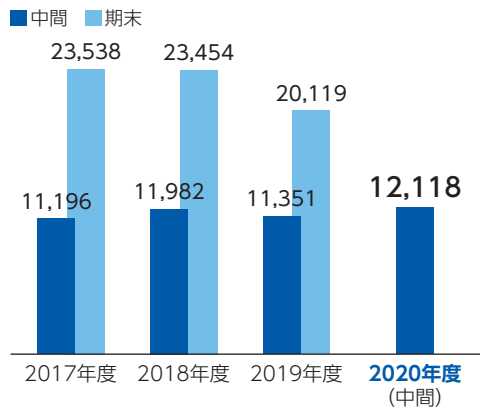


1株当たり中間(当期)純利益(円)

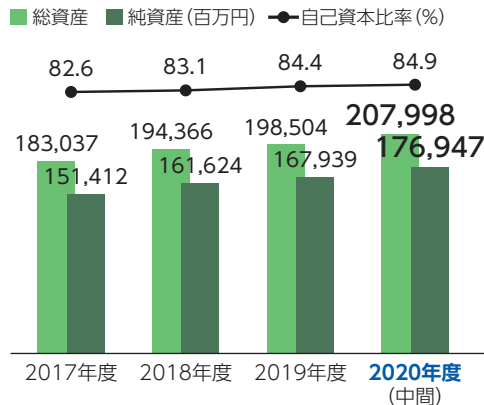
■ 中間 ■ 期末



経常利益(百万円)

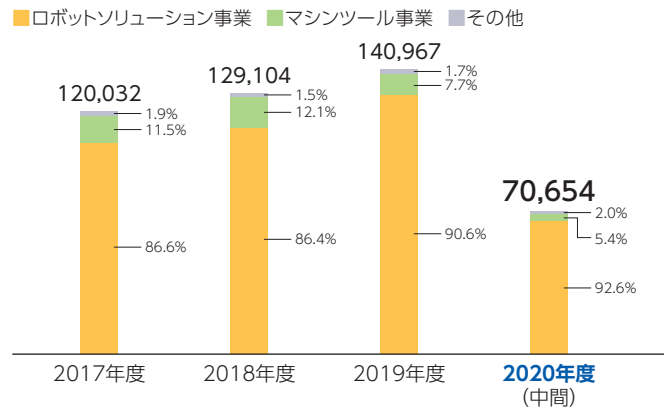


総資産／純資産／自己資本比率

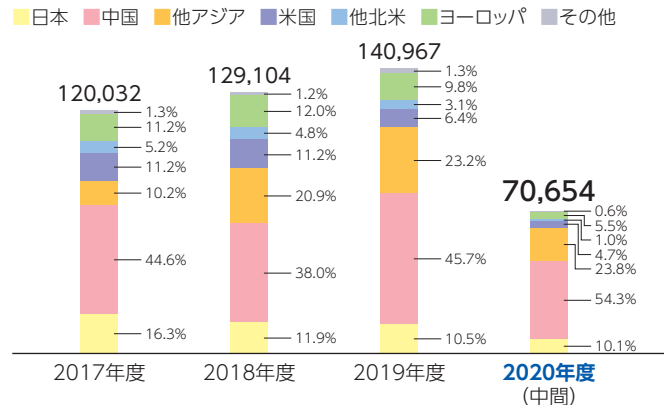


(注) 2018年度より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を適用しており、2017年度につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

セグメント別売上高(百万円)



地域別売上高(百万円)



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2020年度 中間期	2019年度 中間期	2019年度
資産の部			
流動資産	131,347	120,589	126,770
現金及び預金	52,821	32,132	43,831
受取手形及び売掛金	36,894	42,271	35,174
有価証券	1,536	5,412	263
商品及び製品	8,101	9,722	8,399
仕掛品	19,867	19,444	22,795
原材料及び貯蔵品	8,005	8,469	8,640
その他	4,131	3,164	7,690
貸倒引当金	△10	△26	△27
固定資産	76,651	74,706	71,733
有形固定資産	25,781	25,068	25,421
無形固定資産	25,312	25,121	24,990
のれん	12,368	13,320	12,844
その他	12,944	11,801	12,145
投資その他の資産	25,557	24,517	21,322
投資有価証券	23,872	23,137	19,384
その他	1,684	1,379	1,938
資産合計	207,998	195,296	198,504

科 目	2020年度 中間期	2019年度 中間期	2019年度
負債の部			
流動負債	28,481	19,652	28,839
支払手形及び買掛金	6,922	8,292	9,050
1年内償還予定の社債	7,223	—	7,227
未払法人税等	3,309	2,875	1,980
製品保証引当金	1,017	1,081	1,073
その他	10,009	7,401	9,508
固定負債	2,569	9,428	1,725
社債	—	7,230	—
退職給付に係る負債	239	199	338
その他	2,329	1,997	1,386
負債合計	31,051	29,080	30,564
純資産の部			
株主資本	167,744	157,352	161,803
資本金	5,878	5,878	5,878
資本剰余金	5,924	5,924	5,924
利益剰余金	163,723	153,330	157,781
自己株式	△7,782	△7,781	△7,781
その他の包括利益累計額	8,907	8,651	5,791
その他有価証券評価差額金	8,482	8,001	5,184
繰延ヘッジ損益	△1	8	15
為替換算調整勘定	610	700	961
退職給付に係る調整累計額	△184	△58	△369
非支配株主持分	295	211	343
純資産合計	176,947	166,215	167,939
負債純資産合計	207,998	195,296	198,504

中間連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2020年度 中間期	2019年度 中間期	2019年度
売上高	70,654	72,225	140,967
売上原価	45,303	45,389	89,605
売上総利益	25,350	26,835	51,361
販売費及び一般管理費	13,938	15,605	31,790
営業利益	11,412	11,230	19,571
営業外収益	802	455	870
受取利息	51	126	248
受取配当金	575	248	473
雑収入	175	80	148
営業外費用	96	334	322
支払利息	△0	△1	△4
支払手数料	3	3	7
為替差損	87	327	296
雑支出	7	4	22
経常利益	12,118	11,351	20,119
特別利益	87	739	745
固定資産処分益	23	11	16
投資有価証券売却益	63	728	728
特別損失	88	106	152
固定資産処分損	50	106	152
投資有価証券評価損	38	—	—
税金等調整前中間(当期)純利益	12,117	11,985	20,712
法人税、住民税及び事業税	3,318	2,978	5,445
法人税等調整額	103	295	272
中間(当期)純利益	8,695	8,711	14,994
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	13	25	31
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	8,681	8,685	14,963

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2020年度 中間期	2019年度 中間期	2019年度
営業活動による キャッシュ・フロー	17,332	9,459	22,560
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,375	△5,321	△5,100
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,739	△2,284	△3,993
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△202	△516	△411
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	9,015	1,335	13,054
現金及び現金同等物の 期首残高	43,907	30,852	30,852
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	52,923	32,188	43,907

ホームページのご案内

ホームページにて企業情報を随時開示しております。

製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信やアニュアルレポート等をご覧いただけます。



スマートフォンやタブレット等から、下記を読み取ってアクセスすることもできます。



<https://www.fuji.co.jp/>

電子デバイス3Dプリンター「FPM-Trinity」

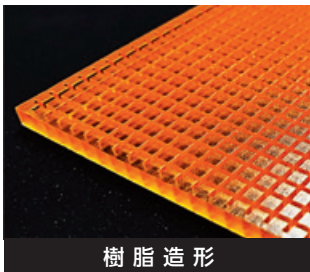
「半導体・オブ・ザ・イヤー 2020」 優秀賞を受賞

現在開発中の電子デバイス3Dプリンター「FPM-Trinity」が電子デバイス産業新聞(発行元:株式会社産業タイムズ社)主催「第26回 半導体・オブ・ザ・イヤー2020」の半導体製造装置部門で優秀賞を受賞しました。今回の受賞では「FPM-Trinity」の開発コンセプトの斬新性、将来性が高く評価されました。

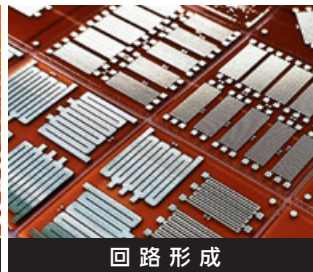
今後もFUJIグループはさらなる革新的な製品の開発に挑戦しつづけます。



部品実装



樹脂造形



回路形成

特長


FPM-Trinity

「樹脂3D造形」「電子回路印刷」「電子部品実装」の機能を兼ね備えた革新的な装置で、1台で立体的な電子機器の製造が可能です。

現在、お客様と一緒にさまざまな試作を重ね、製品化に向けた開発を進めています。

●試作事例



指輪型センサモジュール



Arduinoマイコン



異形LEDボード



会社の概要

商 号	株式会社FUJI	支 店	東京、大阪
	FUJI CORPORATION	営 業 所	仙台(宮城)
本 社 所 在 地	愛知県知立市山町茶碓山19番地	工 場	本社、岡崎、豊田（以上愛知）
設 立	1959年4月	主要な事業内容	電子部品実装ロボット及び工作機械の製造、販売
資 本 金	5,878百万円	従 業 員 数	連結2,538名、単体1,724名（2020年9月30日現在）

役員及び執行役員（2020年9月30日現在）

役 員

					
代表取締役会長 曾我 信之	代表取締役社長 須原 信介	取締役 常務執行役員 江崎 一	取締役 常務執行役員 杉浦 昌明	取締役 執行役員 加納 淳一	取締役※ 川合 伸子
					
取締役※ 玉田 秀彰	取締役※ 水野 象司	常勤監査役 畔柳 泰明	監査役※ 松田 茂樹	監査役※ 山下 佳代子	

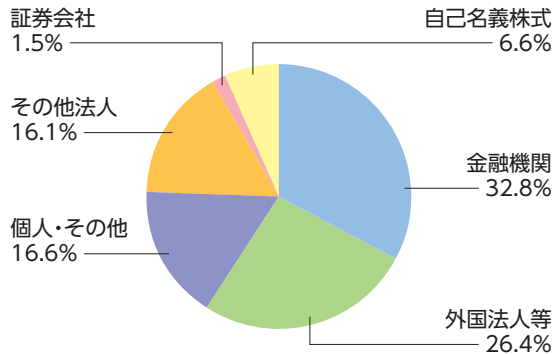
執行役員

					
上席執行役員 片山 正己	上席執行役員 安田 公彦	上席執行役員 勝見 裕司	執行役員 鈴木 隆紀	執行役員 村上 浩	執行役員 酒井 一俊

(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員であります。

発行可能株式総数 390,000,000株
 発行済株式の総数 97,823,748株
 株主数 7,989名

所有者別分布状況

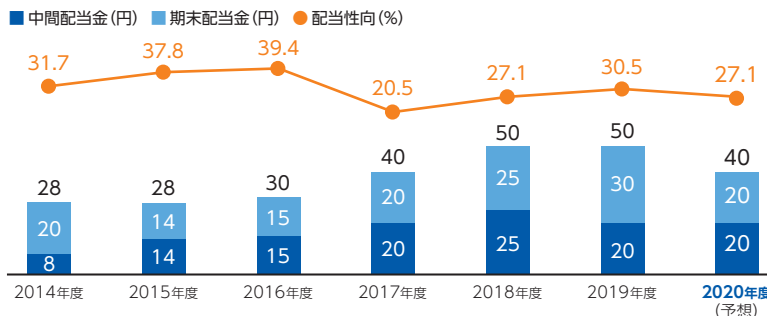


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率
大同生命保険株式会社	6,280	6.87%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,782	6.33%
株式会社三菱UFJ銀行	4,272	4.67%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,353	3.67%
FUJI取引先持株会	3,056	3.34%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	2,219	2.42%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	1,772	1.94%
株式会社名古屋銀行	1,554	1.70%
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,483	1.62%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,361	1.49%

(注) 1. 当社保有の自己株式(6,479,244株)については、上記上位10名の株主から除外しております。
 2. 持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は自己株式を控除して計算し小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

1株当たり年間配当金・配当性向



配当政策及び配当金

当社の利益配分に関する基本方針といたしましては、将来の事業展開に伴う資金需要に配慮しつつ、株主の皆様への継続的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、安定配当の維持に努めてまいります。

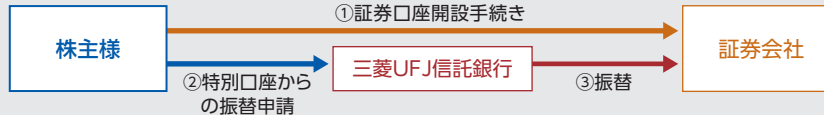
今期の配当金につきましては、中間配当金、期末配当金を各々1株につき20円とし、年間では40円とさせていただきます。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
定時株主総会	6月中		受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの 中間配当金受領株主確定日は 9月30日であります。	公告掲載方法	電子公告 (当社ホームページ https://www.fuji.co.jp/ に掲載いたします。) ただし、事故等で電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号		

[ご注意]

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座*に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。



*特別口座とは、2009年1月の株券電子化移行時点で、証券会社の口座に当社株式をお預けになっていない株主様のために、当社が三菱UFJ信託銀行に開設した口座のことです。

[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

マイナンバーに関するお知らせ

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へ、マイナンバーをお届出いただく必要がございます。

◎マイナンバーの取扱いについて

株式等の税務手続においては法律に従い、以下のような支払調書を作成・提供するためにマイナンバーを使用いたします。

主な支払調書 ●配当金等に関する支払調書
●単元未満株式の買取請求等、株式の譲渡取引に関する支払調書

◎マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引のある証券会社等までお問い合わせください。

証券会社とお取引がない株主様

フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711 (通話料無料)

受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00



株式会社 FUJI

〒472-8686

愛知県知立市山町茶碓山19番地



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

